



令和2年11月13日

各位

会社名 日本基礎技術株式会社
 代表者名 取締役社長 中原 巖
 (コード番号 1914 東証 第1部)
 問合せ先 取締役執行役員 事務管理本部長 尾崎 克哉
 (TEL 03-5365-2500)

特別損失(個別)の計上および第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、令和3年3月期第2四半期累計期間の個別決算において特別損失を計上するとともに、令和2年5月15日に公表しました令和3年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の決算値との差異について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(投資損失引当金繰入額)

第2四半期累計期間の個別決算において、連結子会社に対する関係会社貸倒引当金繰入額363百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、個別財務諸表上にて特別損失として計上いたしますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

2. 業績予想との差異

令和3年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の差異 (令和2年4月1日～令和2年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり四 半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 11,000	百万円 80	百万円 120	百万円 80	円 銭 3.10
実績値 (B)	10,419	300	393	139	5.43
増減額 (B-A)	△580	220	273	59	—
増減率 (%)	△5.3%	275.8%	227.7%	73.8%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (令和2年3月期第2四半期)	10,418	518	645	416	15.53

令和3年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の差異 (令和2年4月1日～令和2年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半 期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,000	百万円 450	百万円 250	円 銭 9.67
実績値 (B)	9,404	763	188	7.38
増減額 (B-A)	△595	313	△61	—
増減率 (%)	△6.0%	69.7%	△24.4%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (令和2年3月期第2四半期)	9,715	802	404	15.07

3. 差異理由

(第2四半期累計期間の個別業績)

個別業績につきましては、受注は計画通りの状況であったものの、売上高は一部工事の進捗が遅れて595百万円減少しました。

しかし、工事利益率の向上に努めたことと、間接費の削減効果によって、営業損益が計画を上回り、また、受取配当金などの営業外収益の増加により経常利益は前回予想から313百万円の増加となりました。

四半期純利益は、特別損失に関係会社貸倒引当金繰入額363百万円を計上したため、前回予想から61百万円減少しました。

なお、個別財務諸表上にて特別損失として計上いたしますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

(第2四半期累計期間の連結業績)

上記個別業績の差異および、米国現地法人において、工事進捗の大幅な遅れや工事間接費の増により収益は大きく下振れました。

その結果、グループ全体としては、売上高は前回予想から580百万円減少しましたが、営業利益で220百万円、経常利益で273百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益で59百万円それぞれ増加しました。

4. 通期業績予想

令和3年3月期の通期業績予想につきましては、令和2年5月15日に公表しております予想数値から変更はありません。

以 上